

第12回 ブルース 3 と クラッシュ・ダンス

1. タンゴや、その他の種目を総仕上げとして練習する。
2. ブルースのフィガーを少し増やすと、よりブルースが楽しくなる！
 - ① サイド・シャッセ、(シャッセとは、開く、閉じる、開く、の3歩を言う)
 - ② ナチュラル・ターン
男子、ワルツのN.T.と同様、前進して右回り(S.Q.Q.)、の後、後退して右に回転継続、右へシャッセを踊る。中央斜めに面する。
 - ③ リバース・ターン ワルツと同じ、但しリズムは、(S.Q.Q.×2)
 - ④ 未だ楽に出来る様なら、クロス・シャッセやトゥインクルを教えても良い。
3. パーティなど混雑している時の踊り方（小さいホールドとステップ、大きく動かないでユックリと周りの流れに沿って踊るコツ、主として男性が後退する、バランスをボールの上に置いておくこと、ピボットなど周りにスペースがない限り大きなターンをしない、など全員を狭い場所だけで踊る練習）
間に、リバース・ターンやシャッセ・ツー・ライト、クロス・シャッセ、ナチュラル・ターンなどS.S.Q.Q.と異なるリズムのステップも入れて踊ろう。
4. ブルースとクイック・ステップの曲で練習する。皆が組んで踊っている時にジルバで踊ることは最も悪いことである事を十分に理解させておく。(海外では日本人が白い目で見られていることを知らない者が多い)
5. 全てのダンスで、良い姿勢（腰を引かないで前バランス）とホールド、柔らかい膝と足首、フットワーク、良いリズムが重要であり、相手（パートナー）にとっても踊りやすい魅力のある相手となることを十分に理解し、常に気を付けて練習することが、上手な踊り手になる最短の道であることを生徒さんに理解して貰うことこそ良い指導者と言えよう。
6. 何度でも繰り返して生徒さんに伝えて欲しいことは、① 姿勢 ② 組み方 ③ リズム ④ 足・膝の柔らかさである。
先生が、見本を示して、良い例、悪い例（少し誇張してみせること）、を踊って、自分だけでなく、他の人の踊りにも注意を向けさせる事が重用である。
(人の振り見て我が振り直せ！) 見る事も勉強である。